

# 共育共生

NPO法人

ジニアウトクラブ

自然を愛する会 J O C

平成22年度 秋号

平成22年10月16日 発行

発行元 熊本市新屋敷1丁目14-30

(株)シェルパ内

TEL096-366-9411

HP <http://sankin.jimdo.com/> 広報担当 三牧

## 理事長便り

NPO法人自然を愛する会JOC 理事長 齊藤 誠治

2学期ですね。いかがお過ごしでしょうか？最近、春先に運動会や体育祭を行うところが多くなったので、何かスポーツの秋という感じが今一つです。何とかうちの娘の小学校は、未だに10月の第1日曜日の開催ですが、食べ物といい行事といい、季節を感じさせるものの大きな変化に戸惑っています。先進国の人間の都合に疑問を感じ、困惑しています。日本は先進国の一員です。本当に豊かな国なのでしょうか？とても不思議な感じですが、物は確かに溢れています。しかし心は浅ましいように思えます。1人の大人として、しっかりと子ども達や学生達を導かなければと思います。お父さんやお母さんも、年中行事や季節の食べ物などを今一度見直してみてください。

さて、今年の夏も「暑い・熱い・篤い・厚い」思い出に残る情熱キャンプでした。参勤交代シリーズでは、薩摩街道・豊前街道・豊後街道の3つを夏休みに行くようになってから初めて一人も欠けることなく全員が完歩しました。熱中症が心配される中での炎天下の徒歩の旅、豊後街道で1日も1度も雨に降られなかったのは、久しぶりでした。それぞれの旅で様々な苦労や感動のドラマがあったと思いますが、皆が無事完歩出来たというのは、主催する団体の責任者としては、大変喜ばしいことでした。特に豊後街道では、RKKさんの密着取材もありましたので、子ども達の様子も結構伝わったことと思います。また、夏恒例の屋久島キャンプも天候に恵まれ、充実した自然体験の時間を過ごして来たようです。今回の会報は、夏キャンプ報告特集です。400名近い子ども達が参加をしてくれました。是非、夏の思い出にふれて下さい。既に冬休みに行くキャンプも準備に入っています。是非、友達を誘って御参加下さい。

## 理事のひとこと

森 宣夫

私は薩摩参勤、日向往還の団長をしています。「熊本のおいしい水をいつまでも残したい」そんな思いでいっぱいです。水前寺公園の水が少なくなっているのを見ると心配です。地球がこわれかかっている。おかしいと気付いていますが、どれだけエコに取り組んでいるかというとほんの少しです。一人の百歩より、百人の一步をめざして、割り箸を一本でも使わないようにと竹箸を作り始めて五年になります。今では、当たり前になったマイバック持参、できることから実行しています。薩摩参勤の目玉は、海水浴、星野富弘美術館、777段の早朝登山、青い目の人形。日向往還の目玉は竹の子堀り、しいたけのコマ打ち体験等、たくさんの人に参加して欲しいです。